別紙3　点検表記録様式　　様式1（その1）

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　48′　30″
				経度	137°　32′　45″
小川橋 （フリガナ）　オガワバシ	村道　第42号線	長野県木曽郡王滝村4129地先			

管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件（名称）
王滝村役場	2016.10.15	一級河川　溝口川	有	一般道	三次	上水道

点検者	株式会社長野技研	点検責任者	三澤　俊一

点検時に記録					措置後に記録		
部材名		判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等が分かるように記載）	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真1、主桁04	Ⅰ		2018.1.5
	横桁	Ⅲ	ひびわれ	写真2、横桁02	Ⅰ		2018.1.5
	床版	Ⅲ	床版ひびわれ	写真3、床版02	Ⅰ		2018.1.5
下部構造		Ⅲ	ひびわれ	写真4、下部構造01	Ⅰ		2018.1.5
支承部		Ⅱ	支承の機能障害	写真5、支承0701	Ⅰ		2018.1.5
その他		Ⅱ	ひびわれ	写真6、親柱0201	Ⅰ		2018.1.5

道路橋毎の健全性の診断（判定区分Ⅰ～Ⅳ）

点検時に記録		措置後に記録	
（判定区分） Ⅲ	（所見等）　旧橋部の床版間詰コンクリートが局所的に抜け落ちる可能性がある。早期の補修が必要。	（再判定区分） Ⅰ	（再判定実施年月日） 2018.1.5

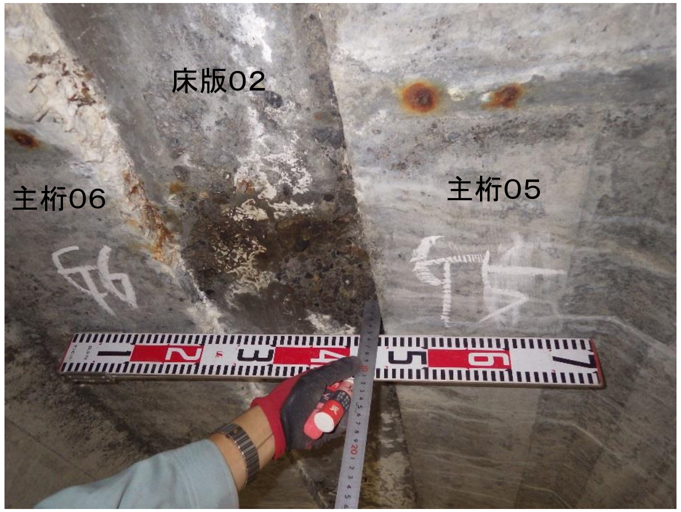
全景写真（起点側、終点側を記載すること）

架設年次	橋長	幅員
1961年	21.0m	8.0m

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

様式(その2)

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ 】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅲ 】
写真1 主桁04 	**写真2** 主桁05 主桁06
上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ 】	**下部構造【判定区分: Ⅲ 】**
写真3  	**写真4** 下部構造01

状況写真（損傷状況）
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載(
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部【判定区分： Ⅱ 】	その他（ 親柱 ）【判定区分： Ⅱ 】
写真5 支承0701 	**写真6** 親柱0102
その他【判定区分： 】	その他【判定区分： 】
写真7	**写真8**